

入所用

医療行為を要する方の受け入れ(平成25年10月1日時点)

実際の入所に関しては、医療処置に関することだけでなく、ご本人の状態や施設の状況などによって変動があります。

(施設名は、定員数の多い順に、定員数が同じ場合は開設順に並べています。)

		松寿園	松戸愛光園	マーシヒル	ひまわりの丘	なでしこ	緑風園	第二南花園	南花園	まんさくの里	明苑苑	秋桜	松戸陽だまり館	やわら木苑	陽光苑	あすなろ	松峰苑	芙蓉園	リバーサイド・ヴィア		
経管栄養	胃瘻	○ 入居定員の10%(15人)まで 安定した経管栄養採取ができること	○	△ 朝・夕2回の対応	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:30)で対応 吐き戻しや油下時のトラブル なく安定していること	△ 状況により応相談	○	△ 従来型 フロアー3名まで ユニット型 不可	△	○ 現在入居されている方は 可、新規は体制次第 いづれも状態が落ちていること	○ 現在、入居している方々で 胃瘻となる方が増え お入れ物に置いてある為、 応相談	○ 10名まで	○ 1フロア2名まで	○ 最大8名まで	○	○	△ 人数制限あり 看護士の勤務帯 (8:30-17:30)で対応	○	×	×	×
	経鼻	×	×	×	×	×	×	△ 自己抜去の危険性がなければ応相談	△	△ 同上	×	△ 自己抜去の危険性がなければ応相談	×	×	×	×	×	×	×	×	×
排泄	尿道カテーテル	○	△ 管理確立し、状態が安定していること	○	○ 状態が安定していること、 カテーテルの交換は対応不可。 トラブル発生時は病院受診。	○	○	○	○	△ 同上	○	△ 自己抜去の危険性がなければ応相談	○	△	○	△	○	○	○	○	○
	人工肛門	○	○	△ ストーマ周辺の状態が安定していること	○ 人工肛門部の皮膚トラブルがない状態	△ 状況により応相談	○	△	○	△ 同上	○	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○
糖尿病管理	血糖測定	○ 看護職員の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○	△ 日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯で対応	○ 看護の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:00)で対応	○	△ 同上	○	△ 看護職員の日勤帯 (9:00-18:00)で対応 応相談	○ 看護士の日勤帯で対応	○	△	○	○	○	×	△ 看護士の日勤帯 (9:00-17:00)で対応、 なおかつ月9日の休みの時あり	
	インスリン注射	○ 看護職員の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○	△ 日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:30)で対応 血糖が安定していること	○ 看護士の日勤帯で対応	○ 看護の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:00)で対応	○	△ 同上	△ 個別に相談が必要 (回数・時間・内服への変更等)	○ 看護職員の日勤帯 (9:00-18:00時)で対応 応相談	○ 同上	○	△	○	○	○ 看護士の日勤帯 (9:00-18:00)で対応	×	△ 同上	
感染症	MRSA	○ 死治している方	○	○	○	○	△	○	○	△	×	○ 死治している方(診断書が必要)	○ 死治している方	△	○	○	○	○	×	○	○
	疥癬	○ 死治している方	○ 死治している方	○ 死治している方	○ 死治している方から	○ 死治している方	△ 応相談	○ 死治している方	○ 死治している方	△ 同上 (死治が条件)	×	○ 死治している方	△ 要相談	△	△	○	×	×	×	×	○ 死治している方
吸引	○ 看護職員の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○	△ 口吸、鼻吸からの吸引は 可能であるが、気管吸引 (気管切開等)は不可	○ 看護士の日勤帯で対応可 な程度の方	○ 看護士の日勤帯での対応	○ 看護の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	○	○	△ 同上 (吸引頻度による)	△ 変相は口腔内のみの吸引と なる	○ 介護職員における口腔内吸引 で対応可能な方	○ 看護士の日勤帯での対応	○	○	○	△	○	×	○ 看護士の日勤帯 (9:00-18:00)で対応、 月9日の休みあり		
点滴	△ 状況により応相談	×	△ 状況により応相談	×	△ 状況により応相談	×	△	×	△ 同上 (一時的なものであれば)	○ 看護士の日勤帯 (8:30-17:30)で対応	△ 入所中の対象で、状況 により応相談(治療や栄養補 給が目的となる点滴の方は 不可)	×	×	×	×	×	×	×	○		
人工透析	△ 送迎体制の整った医療機関 への通院であれば応相談 (家族等の付き添い不要)	△	×	○ 送迎体制の整った医療機関 への通院であれば応相談	×	△ ご家族による送迎が可能 であれば応相談	△ 送迎体制の整った医療機関 への通院であれば応相談	△	△ 同上 (家族等へ受診の対応を依頼)	△ 送迎体制の整った医療機関 への通院(家族対応)であ れば相談	△ 入所中の対象で、送迎体 制の整った医療機関への通 院であれば応相談	×	×	×	×	×	×	×	△		
医療用麻薬	△ ご入居者の方の状態等によ り、郵送、応相談	△ 貼り薬のみ可 注射は不可	×	△ 状況により応相談	×	×	×	×	○	○	○	×	△ 要相談 担当医は処方しない	×	×	×	○	×	○		
酸素療法	△ ご入居者の方の状態等によ り、郵送、応相談	△ 終末期に酸素療法が必要 な場合は、受け入れ可能 急変の可能性のあるような (酸素濃度計測が必要な) 方の受け入れは不可。	△ 状況により応相談	△ 5ℓ/minまで対応可	△ 状況により応相談	△ 応相談	△	○	○	○ 入居後必要となった場合の み可	○ 医師の判断に基づき、HcT 値の判明によって施設での 生活が可能とされた方は応 相談	○	○	○	○	○	○	×	○		
その他	△ 協力医療機関以外への定 期受診は、家族に協力を 依頼	△ 喘息⇒○(症状安定) 気管切開⇒× 肝炎⇒○ 梅毒⇒○ 腎臓⇒×(既往のみは○) インフルエンザ⇒× 脳偏麻痺(褥瘡含む) ⇒△(要写真確認) 骨折⇒△ 粗悪行為⇒△	△ 変相は家族に協力を依頼	△ ご家族による送迎が可能 であれば応相談	△ ご家族による送迎が可能 であれば応相談	△ ご家族による送迎が可能 であれば応相談	△ ご家族による送迎が可能 であれば応相談	○	○ 定期受診は家族に協力を依 頼	○ 入居後、家族から医療機関 受診を希望された場合は、 家族に協力を依頼	○ 定期受診は家族に依頼	○	○	○	○	○	○	×	○ 嘱託医療機関の医師・看 護士との連携あり		

○基本的には可能(条件付きを含む)

△応相談

×不可能

入所用

医療体制(平成25年10月1日時点)

実際の入所に関しては、医療処置に関するだけでなく、ご本人の状態や施設の状況などによって変動があります。
(施設名は、定員数の多い順に、定員数が同じ場合は開設順に並べています。)

		松寿園	松戸愛光園	マーシイヒル	ひまわりの丘	なでしこ	緑風園	第二南花園	南花園	まんさくの里	明尽苑	秋桜	松戸陽たまり館	やわら木苑	陽光苑	あすなろ	松峰苑	芙蓉園	リバーサイド・ヴィラ
定員数		150	100	90	90	90	80	80	76	70	70	70	70	60	50	50	29	29	29
		従米型多床室90ユニット型個室60						従米型50個室ユニット型30											
配置医師について	医療機関名	六高台内科胃腸科クリニック	梨香台診療所	おおたかの森病院	加賀谷正クリニック	西内科神経内科クリニック	小坂橋病院	加賀谷正クリニック	阿部クリニック	聖光ヶ丘病院	聖光ヶ丘病院	笑顔のおうちクリニック松戸	東葛クリニック病院	東葛病院	市場医院	島村トータルケアクリニック	梨香台診療所	山本病院	いらはら診療所
	医師名	笹田 和裕	石井 正則	小山 征之	加賀谷 正	西 克典	高橋 美妃	加賀谷 正	岩居 武	吉岡 信二	荒井 政光	松本 尚浩	延藤 卓生	三戸部 聖子	市場 卓	酒向 猛	石井 正則	中山 雅晴	石井 誠之
配置医師との電話相談	日中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	夜間・休日	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○
配置医師による臨時往診	日中	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○
	夜間・休日	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○
夜間の看護師の配置		オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	対応なし	オンコール	対応なし	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール	オンコール
医療者の体制について、補足や説明		配置医師の体制は、基本的には電話相談、臨時往診とも可能。状況により、難しい場合もありうる。月に2回、精神科医による定期往診の体制がある。		小金原診療所における対応も行っている。			協力病院と常に連携をとっており、必要に応じて緊急搬送をしている。休日・深夜に関わらず、対応しており、施設の為に空床を留意している。	医師は、緊急性が高い場合は兼業に対応。内容により、対応が難しい場合もある。	現在最終的な看取りは行っていないが、今後については看取りを検討していきたい。		協力病院との連携が十分に取れている。	チャットを活用したネットワーク体制により、24時間のチームケアを行っている。			配置医師は、24時間対応が可能である。			看護師及び医師とは、24時間オンコール体制を実施している。	
退去者数		26	23	15	17	12	14	18	17	8	9	11	5	20	21	6			0 ³⁺²
看取り介護加算の算定人数	(H24.4-H25.3)	3	9	0	13	0	0	0	0	2	6	0	0	6	9	0	0	0	0
施設内で看取った人数		13	9	0	13	0	0	0	17	0	6	9	0	6	9	0	0	0	0
うち、末期がんの人数		0	1	0	3	0	0	0	3	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0
看取りの方針		配置医師からの説明と生活相談員との協議をとおして、本人、家族の意思を確認し、施設において対応可能な状態とご希望される対応について、齟齬がないよう調整している。	施設職員が家族の想いを分かち合うことを方針としている。	同一グループにある病院と連携して、医療行為の内容により施設での看取りを検討している。	本人または家族が施設内での看取りを希望すれば基本的に対応することを確認している。	特になし	同一グループにある病院と連携して、病院での看取りを勧めている。		本人・家族の希望により、ぎりぎり迄は施設で看るが、最終的には協力病院での看取りを勧めている。	家族(可能であれば本人)の意向を尊重し、可能な限り看取りの体制を整えている。	本人、家族が施設内での看取りを希望すれば、医師の診断により施設での看取りを行っている。家族にも泊まり込んで頂く事が可能。	本人、家族が施設内での看取りを希望すれば、なるべく調整している。医療行為がほとんどなければ、施設での看取りを考慮している。		本人、家族の希望をなるべく調整している。	家族の看取り希望があれば、配置医師と調整しながら対応していく。	医療依存度が低く、配置医師との連携が整えば、看取りを行っていく。	本人、家族が施設内での看取りを希望すれば、なるべく調整している。看取り時期には、本人、家族の意に沿えるように調整及びケアを実施している。	本人、家族が施設内での看取りを希望すれば、なるべく調整している。	
入所時の意思確認	話し合いと文書*1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	備考		入居時よりその時々に応じて意思確認を書面で行う。					入所時にアンケートを取らせていただき、実際に死期が見えたら、医師から説明後、同意書をいただきます。	但、入所時ではなく、後日に行う。		入居中の方が入院中、施設での生活を希望された場合(治療しても快復の見込みなしとの診断があった場合)医師と相談の上、退院して頂き(看取りとして)可能な限り受入れをする体制がある。				配置医師が24時間対応しているのので、安心して看取りを実施している。			看取りに関しては、死後職員及びユニットご入居者、家族とお別れ会を実施し、皆で施設より見送りをしている。	体調不良時及び緊急時については協力病院へ受診、医療が必要である場合は契約時に実施。(看取りに関する意思確認ではない)

*1 入所者や家族との看取りを想定した話し合いと文書による確認

ショート用

医療行為を要する方の受け入れ(平成25年10月1日時点)

実際の受け入れに関しては、医療処置に関するだけでなく、ご本人の状態や施設の状態などによって変動があります。

(施設名は、定員数の多い順に、定員数が同じ場合は開院順に並んでいます。)

定員数	松寿園	マーセイヒル	ひまわりの丘	松戸愛光園	松峰苑	南花園	陽光苑	まんさくの里	明晃苑	秋桜	あすなろ	松戸陽だまり館	なでしこ	第二南花園	やわら木苑	緑風園	リバーサイド・ヴィラ		
20	20	20	20	20	20	14	12	10	10	10	10	10	10	10	8	6	4		
夜間の看護士の配置	オンコール ショートステイ専任の看護士 看護士の配置をしている。	オンコール 状況により協力病院(おたかの森病院・小倉野診療所)での対応もしている。	オンコール	オンコール	看護士のある利用者に対しては、ケースによる受入カンファレンスを開催しているため、緊急での受け入れ対応は困難な場合がある。	対応なし	オンコール 利用中の住戸については、基本的には対応していない。	オンコール 得意でのかかりつけ医を基本とし、体調不良などは家族による受診、状況により退院を要する(緊急時は除く)。	オンコール 主治医・担当CM・家族との連携が取れている	オンコール	オンコール	オンコール ショートステイは在宅サービスのため、受診は主に家族に依頼している。緊急性が強い時は職員対応している	オンコール	オンコール 地域の応急看護師が主治医であれば看取りも可能	対応なし	対応なし ショート入所の方への医療は、主治医に任せている	オンコール		
医療者の体制について、補足や説明																			
経管栄養	胃瘻	○ 朝・夕 2回の対応	△ 看護士日勤帯(8:30-17:30)で対応 吐き戻しや満下時のトラブルなく安定していること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	経鼻	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
排泄	尿道カテーテル	○	○	○ 状態が安定していること カテーテルの交換は対応不可 トラブル発生時は病院受診	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人工肛門	○	○ ストーマ周辺の皮膚状態が安定していること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
糖尿病管理	血糖測定	○ 看護士の日勤帯(8:30-17:30)で対応	○ 日勤帯(8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯(8:30-17:30)で対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	インスリン注射	○ 看護士の日勤帯(8:30-17:30)で対応	○ 日勤帯(8:30-17:30)で対応	○ 看護士の日勤帯(8:30-17:30)で対応 血糖値が安定していること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
感染症	MRSA	○ 死治している方	○ 死治している方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	疥癬	○ 死治している方	○ 死治している方	○ 死治証明が出てから	○ 死治している方	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
吸引	○ 看護士の日勤帯(8:30-17:30)で対応	△ 口腔、鼻腔からの吸引は可能であるが、気管吸引(気管切開等)は不可とする	△ 随時の吸引は受入不可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
点滴	△ 状況により応相談	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
人工透析	△ 送迎体制のあった医療機関への送迎であれば応相談(家族等による付き添いを依頼)	×	△ 前回の通院記録は対応不可。利用以外に人工透析通院(状態が安定している)	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
医療用麻薬	△ 利用者の状態等により、程度、応相談	×	×	△ 貼り薬のみ 注射は不可	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
酸素療法	△ 利用者の状態等により、程度、応相談	△	○	△ 終末期に酸素療法が必要な場合は、受け入れ可能。急激な可能性のあるような(酸素濃度が低下)方の受け入れは不可。	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	△ 協力医療機関以外への受診対応は家族に依頼		△ 医療行為の必要な方(胃ろう、人工肛門、自衛測定、インスリン)は定員の1割程度を目安として応相談	△ 褥瘡⇒○(症状安定) 気管切開⇒× 肺炎⇒○ 梅毒⇒○ 結核⇒×(既往のみは○) インフルエンザ⇒× 前歯欠損(歯磨き)⇒△(要専員確認) 骨行⇒△ 粗麻行為⇒△	△ 前歯等の感染症に罹患した方は、原則として受け入れられない	△	△	△ 受診は家族に依頼 健康状態が安定していない方(褥瘡)によるは利用できない	△	△ 基本、受診対応は家族に依頼 医療機関への受診等は、要相談	△	△	△	△	△	△	△		

○ 基本的には可能(条件付きを含む)
△ 応相談
× 不可